

公開シンポジウム

2004年6月27日(日)

於 彦根勤労福祉会館

【基調講演】(午前11時～12時)

演題 『足元の未知の世界
～土壤動物を調べる～』
足下に未知の生物世界があるが、
どうやって調べるか難しい問題が
ある。それが調査される前に、大
きく変化し消滅している現状をう
ったえる。

講師 渡辺 弘之 氏
(京都大学名誉教授・関西自然保護機構理事長)

【会場地図】



【シンポジウム】(午後1時～4時)

テーマ 『生物に関わる資格の意義と役割』

趣旨説明 最近国や県、民間団体などが、生物に関するさまざまな資格を作り、講座や試験などを行っている。しかし個別の資格を得るための基準やその実態、また資格を与える側の資質や目的など、多くの課題や問題が指摘されている。

そこで本シンポジウムでは、生物に関わる資格の役割と課題を明らかにした上で、資格をより意味のあるものにするために、与える側と受ける側の最良の方法について探る。

プログラム

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1 主旨説明 | 布谷 知夫 (琵琶湖博物館) |
| 2 森林インストラクターについて | 大原 洋一郎 (淡海森林クラブ) |
| 3 ビオトープ鑑定士について | 中村 實 (びわこ地球市民の森センター) |
| 4 生物に関する資格について | 志村 智子 (NACS-J 日本自然保護協会) |
| 5 自然環境関連諸資格の意義と課題 | 花井 正光 (文化庁記念物課) |
| 6 生物分類技能検定について | 久保田 正秀 (自然環境研究センター) |
| 7 総合討論 | 村上 興正 (コーディネーター: 同志社大学講師) |